

ワールド・ウォーター・ファンド Aコース／Bコース

運用報告書(全体版)

第13期(決算日2017年4月10日)

作成対象期間(2016年4月12日～2017年4月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2004年3月26日から2019年4月10日(当初、2014年4月10日)までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。実質的な株式の投資にあたっては、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本とします。銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。	
	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。	実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金	み騰	期中騰落率	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
9期(2013年4月10日)	15,641	500	14.1	140.23	17.1	101.1	—	1,892
10期(2014年4月10日)	17,639	600	16.6	165.99	18.4	96.9	—	1,819
11期(2015年4月10日)	18,419	600	7.8	193.37	16.5	97.6	—	1,597
12期(2016年4月11日)	17,578	600	△ 1.3	179.15	△ 7.4	94.4	—	1,470
13期(2017年4月10日)	19,664	750	16.1	210.83	17.7	96.1	—	1,543

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。
 *MSCI ワールド インデックス フリーは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所: MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2016年4月11日	17,578	—	179.15	—	94.4	—
4月末	18,047	2.7	184.91	3.2	95.6	—
5月末	18,436	4.9	186.32	4.0	97.4	—
6月末	18,248	3.8	181.32	1.2	96.8	—
7月末	19,114	8.7	190.60	6.4	97.2	—
8月末	18,999	8.1	192.20	7.3	99.0	—
9月末	19,165	9.0	191.11	6.7	97.3	—
10月末	18,563	5.6	190.80	6.5	98.9	—
11月末	18,816	7.0	195.66	9.2	98.8	—
12月末	18,951	7.8	201.35	12.4	98.5	—
2017年1月末	19,248	9.5	203.28	13.5	98.5	—
2月末	20,003	13.8	209.50	16.9	96.6	—
3月末	20,248	15.2	211.48	18.0	94.2	—
(期末)						
2017年4月10日	20,414	16.1	210.83	17.7	96.1	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配 金	期中 騰落 率	期中 騰落 率	期中 騰落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
9期(2013年4月10日)	16,427	520	35.2	163.92	39.8	97.9	—	10,511
10期(2014年4月10日)	19,159	750	21.2	202.14	23.3	97.5	—	10,793
11期(2015年4月10日)	21,971	800	18.9	258.35	27.8	97.4	—	10,114
12期(2016年4月11日)	18,981	750	△10.2	219.03	△15.2	98.2	—	7,314
13期(2017年4月10日)	21,369	900	17.3	261.90	19.6	98.0	—	6,831

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。
 *MSCI ワールド インデックス フリーは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2016年4月11日	18,981	—	219.03	—	98.2	—
4月末	19,826	4.5	229.78	4.9	96.7	—
5月末	20,424	7.6	232.77	6.3	97.9	—
6月末	18,665	△1.7	210.55	△3.9	97.3	—
7月末	19,758	4.1	223.91	2.2	97.2	—
8月末	19,444	2.4	223.59	2.1	98.4	—
9月末	19,284	1.6	218.69	△0.2	97.2	—
10月末	19,112	0.7	223.84	2.2	98.7	—
11月末	20,615	8.6	243.90	11.4	98.8	—
12月末	21,384	12.7	258.70	18.1	98.6	—
2017年1月末	21,427	12.9	258.03	17.8	98.5	—
2月末	22,000	15.9	262.77	20.0	96.8	—
3月末	22,277	17.4	265.06	21.0	93.7	—
(期末)						
2017年4月10日	22,269	17.3	261.90	19.6	98.0	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

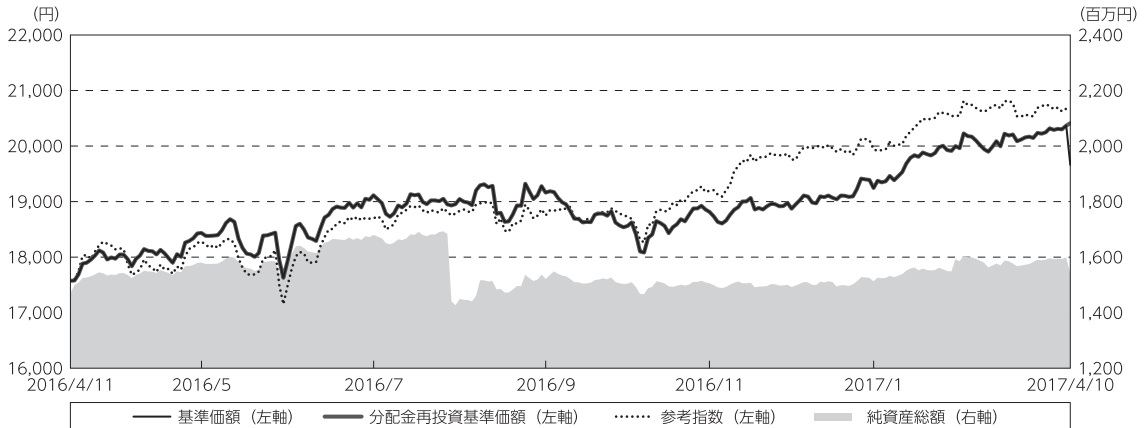
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：17,578円

期末：19,664円 (既払分配金(税込み)：750円)

騰落率：16.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2016年4月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース) です。作成期首(2016年4月11日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首17,578円から期末19,664円となりました。

- ・2016年6月、英国のEU(欧州連合)離脱を問う国民投票の結果、離脱派が勝利し、投資家心理が悪化したことなどから主要各国の株価が下落したこと。
- ・7月、主要国・地域の中央銀行による政策対応への期待の高まりや、市場予想以上の6月の米国雇用統計、4-6月期の米国・欧州企業決算が総じて市場予想を上回ったこと、また、FOMC(米連邦公開市場委員会)で利上げが見送られ、引き続き慎重に利上げ時期が判断されるとの見方が広がったことや、英国で次期首相が決まり政局の先行き不透明感が和らいだことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。

<Aコース>

- ・11月、米大統領選において共和党候補のトランプ氏が勝利し、同氏の掲げる減税やインフラ投資支出の拡大、規制緩和といった政策への期待が高まったことや、イエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長による12月利上げの示唆を受けて金融株が上昇したことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。

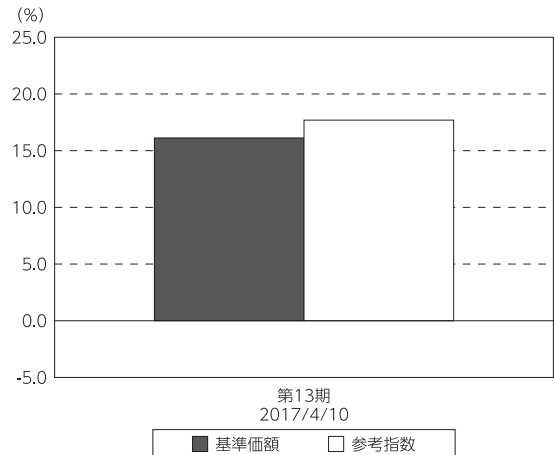
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）の17.7%の上昇に対し、基準価額は16.1%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）とは異なった動きをしておりません。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）です。

<Aコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Aコースで1万口当たり750円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第13期
	2016年4月12日～ 2017年4月10日
当期分配金	750
(対基準価額比率)	3.674%
当期の収益	750
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,663

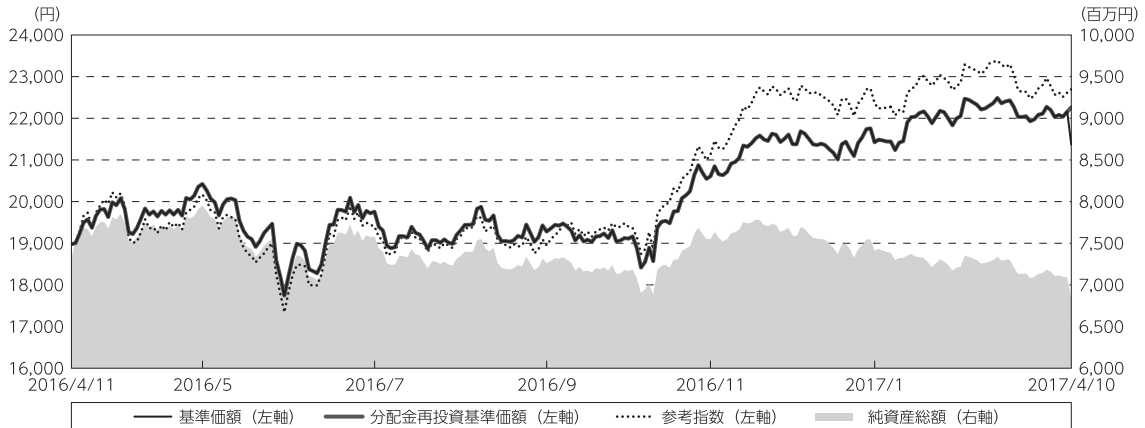
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：18,981円

期末：21,369円（既払分配金（税込み）：900円）

騰落率： 17.3%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2016年4月11日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。作成期首（2016年4月11日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首18,981円から期末21,369円となりました。

- ・2016年6月、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票の結果、離脱派が勝利し、投資家心理が悪化したことなどから主要各国の株価が下落したこと。また、日銀が金融政策の現状維持を決定したことや、EU離脱を巡る英国の国民投票で離脱派が勝利したことで市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、主要通貨に対して円が買われたこと。

<Bコース>

- ・ 7月、主要国・地域の中央銀行による政策対応への期待の高まりや、市場予想以上の6月の米国雇用統計、4－6月期の米国・欧州企業決算が総じて市場予想を上回ったこと、また、FOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが見送られ、引き続き慎重に利上げ時期が判断されるとの見方が広がったことや、英国で次期首相が決まり政局の先行き不透明感が和らいだことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 11月、米大統領選において共和党候補のトランプ氏が勝利し、同氏の掲げる減税やインフラ投資支出の拡大、規制緩和といった政策への期待が高まったことや、イエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長による12月利上げの示唆を受けて金融株が上昇したことなどから、米国などの株価が上昇したこと。また、米大統領選においてトランプ氏が勝利し、次期政権の景気刺激策への期待が高まったことや、FRBによる利上げ観測の高まりを背景に米長期金利が上昇したことなどから、主要通貨に対して円が売られたこと。

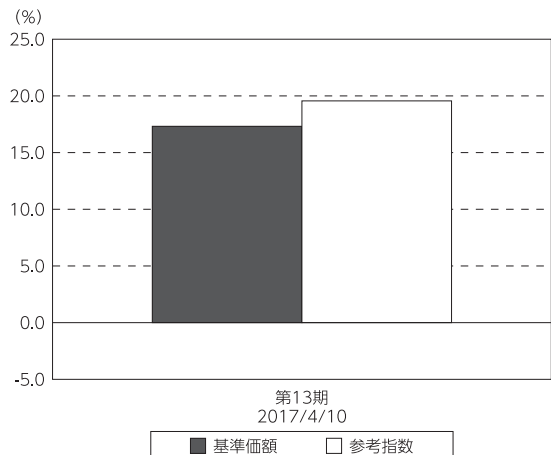
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の19.6%の上昇に対し、基準価額は17.3%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしています。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Bコースで1万口当たり900円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第13期
	2016年4月12日～ 2017年4月10日
当期分配金	900
(対基準価額比率)	4.041%
当期の収益	900
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	11,368

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

期中の世界株式市場は、米国や欧州をはじめとする中央銀行の金融政策や米国の大統領選挙、英国のEU離脱を問う国民投票、中国の景気動向などに左右される展開となり、期を通じて上昇となりました。

為替市場では、期を通じて、米ドルに対して概ね円安、ユーロに対して円高となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース] および [ワールド・ウォーター・ファンド Bコース] は、主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行うことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリング」と「上下水道ビジネス」を中心に投資してまいりました。
 - ②業績が景気の影響をより受けやすい「装置製造・エンジニアリング」については、バリュエーション面で割安感があり、財務体質のしっかりした企業に投資を行いました。
 - ③世界的に景気回復期待が高まったものの、よりディフェンシブ（景気に左右されにくい）性の高い規制下の事業比率が高い「上下水道ビジネス」への投資を引き続き行いました。
 - ④「環境マネジメント・サービス」については、バリュエーションの観点から割高な銘柄を売却する一方、中期的な業績動向が堅調な銘柄の購入を行いました。
 - ⑤産業向けに流体制御装置などを取り扱う米国のフロー制御機器メーカーや米国の家庭・セキュリティ製品メーカーなどの株式を組み入れました。一方で、米国の一般廃棄物処理会社などの株式を一部売却しました。

<Aコース/Bコース>

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建て資産に対して対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じて概ね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行いませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

装置製造・エンジニアリングセクターでは、水道インフラ、分析機器、消費者関連に注目しているほか、上下水道ビジネスセクターでは、欧州や新興国の公益企業に注目しています。

水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、中長期的に見ると、世界的に事業展開を行う水関連銘柄のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。中長期的に水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えます。

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年4月12日～2017年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 348	% 1.831	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(184)	(0.969)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(143)	(0.754)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(20)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	10	0.054	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(10)	(0.054)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.015	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(3)	(0.015)	
(d) そ の 他 費 用	9	0.047	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(8)	(0.043)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	370	1.947	
期中の平均基準価額は、18,986円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2016年4月12日～2017年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 216,711	千円 761,400	千口 260,832	千円 937,000

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2016年4月12日～2017年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	8,058,618千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,762,544千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.91	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2016年4月12日～2017年4月10日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ウォーター・ファンド Aコース>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替先物取引	百万円 53	0.8	%	百万円 99		1.4

<ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
株式	百万円 37	1.2	%	百万円 147		3.0
為替直物取引	914	1.0		2,591	—	—

平均保有割合 17.3%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

<Aコース>

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	833千円
うち利害関係人への支払額 (B)	52千円
(B) / (A)	6.3%

* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	422,071	377,950	1,502,770

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	1,502,770	93.0
コール・ローン等、その他	113,932	7.0
投資信託財産総額	1,616,702	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（7,838,945千円）の投資信託財産総額（8,773,489千円）に対する比率は89.3%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=111.43円、1カナダドル=83.08円、1英ポンド=137.91円、1スイスフラン=110.33円、1スウェーデンクローナ=12.27円、1デンマーククローネ=15.85円、1ユーロ=117.88円、1香港ドル=14.34円、1ウォン=0.0977円、1メキシコペソ=5.99円、1リアル=35.42円、1チリペソ=0.17円。

<Aコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,991,019,126
コール・ローン等	9,818,882
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	1,502,770,255
未収入金	1,478,429,989
(B) 負債	1,447,361,106
未払金	1,374,540,090
未払収益分配金	58,876,937
未払解約金	579
未払信託報酬	13,918,971
未払利息	26
その他未払費用	24,503
(C) 純資産総額(A-B)	1,543,658,020
元本	785,025,830
次期繰越損益金	758,632,190
(D) 受益権総口数	785,025,830口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,664円

(注) 期首元本額は836,539,821円、期中追加設定元本額は174,012,593円、期中一部解約元本額は225,526,584円、1口当たり純資産額は1,9664円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額62,219,048円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2016年4月12日～2017年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 18,567
支払利息	△ 18,567
(B) 有価証券売買損益	230,369,394
売買益	441,813,210
売買損	△211,443,816
(C) 信託報酬等	△ 28,458,383
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	201,892,444
(E) 前期繰越損益金	167,879,248
(F) 追加信託差損益金	447,737,435
(配当等相当額)	(345,025,527)
(売買損益相当額)	(102,711,908)
(G) 計(D+E+F)	817,509,127
(H) 収益分配金	△ 58,876,937
次期繰越損益金(G+H)	758,632,190
追加信託差損益金	447,737,435
(配当等相当額)	(345,566,089)
(売買損益相当額)	(102,171,346)
分配準備積立金	310,894,755

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年4月12日～2017年4月10日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2016年4月12日～ 2017年4月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	25,123,224円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	160,622,563円
c. 信託約款に定める収益調整金	447,737,435円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	184,025,905円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	817,509,127円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	10,413円
g. 分配金	58,876,937円
h. 分配金(1万口当たり)	750円

<Aコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	750円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年4月12日～2017年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	373	1.831	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(197)	(0.969)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(153)	(0.754)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(22)	(0.108)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	11	0.054	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(11)	(0.054)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.016	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(3)	(0.016)	
(d) そ の 他 費 用	9	0.046	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(9)	(0.043)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	396	1.947	
期中の平均基準価額は、20,351円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2016年4月12日～2017年4月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 102,649	千円 347,900	千口 578,476	千円 2,135,400

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2016年4月12日～2017年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	8,058,618千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,762,544千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.91	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2016年4月12日～2017年4月10日)

利害関係人との取引状況

<ワールド・ウォーター・ファンド Bコース>

該当事項はございません。

<ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
株式	3,117	37	1.2	4,941	147	3.0
為替直物取引	914	9	1.0	2,591	—	—

平均保有割合 82.7%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

<Bコース>

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	3,994千円
うち利害関係人への支払額 (B)	246千円
(B) / (A)	6.2%

* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年4月10日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	2,182,889	1,707,062	6,787,452

* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	6,787,452	93.7
コール・ローン等、その他	454,162	6.3
投資信託財産総額	7,241,614	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（7,838,945千円）の投資信託財産総額（8,773,489千円）に対する比率は89.3%です。

* 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=111.43円、1カナダドル=83.08円、1英ポンド=137.91円、1スイスフラン=110.33円、1スウェーデンクローナ=12.27円、1デンマーククローネ=15.85円、1ユーロ=117.88円、1香港ドル=14.34円、1ウォン=0.0977円、1メキシコペソ=5.99円、1リアル=35.42円、1チリペソ=0.17円。

<Bコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,241,614,026
コール・ローン等	103,161,297
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	6,787,452,729
未収入金	351,000,000
(B) 負債	410,159,860
未払収益分配金	287,727,647
未払解約金	55,189,894
未払信託報酬	67,123,646
未払利息	282
その他未払費用	118,391
(C) 純資産総額(A-B)	6,831,454,166
元本	3,196,973,866
次期繰越損益金	3,634,480,300
(D) 受益権総口数	3,196,973,866口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,369円

(注) 期首元本額は3,853,541,510円、期中追加設定元本額は170,060,242円、期中一部解約元本額は826,627,886円、1口当たり純資産額は2,1369円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額62,219,048円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2016年4月12日～2017年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 62,932
支払利息	△ 62,932
(B) 有価証券売買損益	1,176,807,157
売買益	1,316,831,193
売買損	△ 140,024,036
(C) 信託報酬等	△ 136,142,532
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	1,040,601,693
(E) 前期繰越損益金	262,629,710
(F) 追加信託差損益金	2,618,976,544
(配当等相当額)	(1,366,841,154)
(売買損益相当額)	(1,252,135,390)
(G) 計(D+E+F)	3,922,207,947
(H) 収益分配金	△ 287,727,647
次期繰越損益金(G+H)	3,634,480,300
追加信託差損益金	2,618,976,544
(配当等相当額)	(1,367,529,253)
(売買損益相当額)	(1,251,447,291)
分配準備積立金	1,015,503,756

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年4月12日～2017年4月10日)は以下の通りです。

項 目	当 期
	2016年4月12日～ 2017年4月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	110,775,015円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	231,938,907円
c. 信託約款に定める収益調整金	2,618,976,544円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	960,517,481円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	3,922,207,947円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	12,268円
g. 分配金	287,727,647円
h. 分配金(1万口当たり)	900円

<Bコース>

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	900円
------------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド

運用報告書

第13期（決算日2017年4月10日）

作成対象期間（2016年4月12日～2017年4月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行うことを基本とします。銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	騰落率	MSCI	騰落率			
9期(2013年4月10日)	24,348	37.7	163.92	39.8	98.6	—	12,378
10期(2014年4月10日)	30,078	23.5	202.14	23.3	98.5	—	12,480
11期(2015年4月10日)	36,405	21.0	258.35	27.8	98.8	—	11,547
12期(2016年4月11日)	33,267	△ 8.6	219.03	△ 15.2	98.9	—	8,665
13期(2017年4月10日)	39,761	19.5	261.90	19.6	98.7	—	8,290

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。
 *MSCI ワールド インデックス フリーは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所: MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

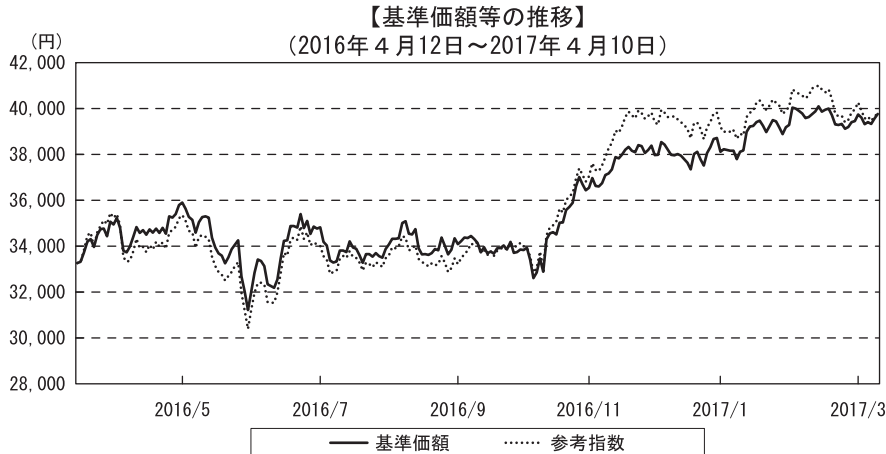
年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	MSCI	騰落率		
(期首) 2016年4月11日	33,267	—	219.03	—	98.9	—
4月末	34,789	4.6	229.78	4.9	97.6	—
5月末	35,905	7.9	232.77	6.3	98.5	—
6月末	32,839	△ 1.3	210.55	△ 3.9	97.8	—
7月末	34,824	4.7	223.91	2.2	97.7	—
8月末	34,322	3.2	223.59	2.1	98.9	—
9月末	34,089	2.5	218.69	△ 0.2	97.6	—
10月末	33,836	1.7	223.84	2.2	99.1	—
11月末	36,552	9.9	243.90	11.4	99.3	—
12月末	37,978	14.2	258.70	18.1	99.1	—
2017年1月末	38,114	14.6	258.03	17.8	99.0	—
2月末	39,186	17.8	262.77	20.0	97.3	—
3月末	39,742	19.5	265.06	21.0	94.2	—
(期末) 2017年4月10日	39,761	19.5	261.90	19.6	98.7	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース) です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の変動要因

基準価額は、期首33,267円から期末39,761円となりました。

- ・ 2016年6月、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票の結果、離脱派が勝利し、投資家心理が悪化したことなどから主要各国の株価が下落したこと。また、日銀が金融政策の現状維持を決定したことや、EU離脱を巡る英国の国民投票で離脱派が勝利したことで市場のリスク回避姿勢が強まったことなどから、主要通貨に対して円が買われたこと。
- ・ 7月、主要国・地域の中央銀行による政策対応への期待の高まりや、市場予想以上の6月の米国雇用統計、4～6月期の米国・欧州企業決算が総じて市場予想を上回ったこと、また、FOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが見送られ、引き続き慎重に利上げ時期が判断されるとの見方が広がったことや、英国で次期首相が決まり政局の先行き不透明感が和らいだことなどから、主要各国の株価が上昇したこと。
- ・ 11月、米大統領選において共和党候補のトランプ氏が勝利し、同氏の掲げる減税やインフラ投資支出の拡大、規制緩和といった政策への期待が高まったことや、イエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長による12月利上げの示唆を受けて金融株が上昇したことなどから、米国などの株価が上昇したこと。また、米大統領選においてトランプ氏が勝利し、次期政権の景気刺激策への期待が高まったことや、FRBによる利上げ観測の高まりを背景に米長期金利が上昇したことなどから、主要通貨に対して円が売られたこと。

○投資環境

期中の世界株式市場は、米国や欧州をはじめとする中央銀行の金融政策や米国の大統領選挙、英国のEU離脱を問う国民投票、中国の景気動向などに左右される展開となり、期を通じて上昇となりました。

為替市場では、期を通じて、米ドルに対して概ね円安、ユーロに対して円高となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

前回の運用方針を元に当期間は以下のような運用を行いました。

・株式組入比率

期を通じて概ね高位を維持しました。

・期中の主な動き

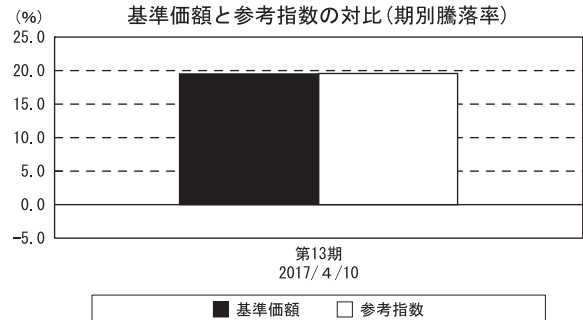
- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行うことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリング」と「上下水道ビジネス」を中心に投資してまいりました。
 - ②業績が景気の影響をより受けやすい「装置製造・エンジニアリング」については、バリュエーション面で割安感があり、財務体質のしっかりした企業に投資を行いました。
 - ③世界的に景気回復期待が高まったものの、よりディフェンシブ（景気に左右されにくい）性の高い規制下の事業比率が高い、「上下水道ビジネス」への投資を引き続き行いました。
 - ④「環境マネジメント・サービス」については、バリュエーションの観点から割高な銘柄を売却する一方、中期的な業績動向が堅調な銘柄の購入を行いました。
 - ⑤産業向けに流体制御装置などを取り扱う米国のフロー制御機器メーカーや米国の家庭・セキュリティ製品メーカーなどの株式を組み入れました。一方で、米国の一般廃棄物処理会社などの株式を一部売却しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の19.6%の上昇に対し、基準価額は19.5%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしています。



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

装置製造・エンジニアリングセクターでは、水道インフラ、分析機器、消費者関連に注目しているほか、上下水道ビジネスセクターでは、欧州や新興国の公益企業に注目しています。水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、中長期的に見ると、世界的に事業展開を行う水関連銘柄のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）は堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。中長期的に水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2016年4月12日～2017年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 19 (19)	% 0.054 (0.054)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	6 (6)	0.016 (0.016)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	16 (15) (0)	0.043 (0.043) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	41	0.113	
期中の平均基準価額は、36,014円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年4月12日～2017年4月10日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株	千円	千株	千円
		21 (△ 67)	37,353 (-)	159	264,960
外 国	アメリカ	百株 4,775 (620)	千米ドル 20,520 (1,394)	百株 6,866 (218)	千米ドル 29,396 (1,394)
	カナダ	157	千カナダドル 516	236	千カナダドル 328
	イギリス	2,120 (11)	千英ポンド 1,621 (26)	4,751	千英ポンド 3,949
	スイス	-	千スイスフラン -	20	千スイスフラン 844
	スウェーデン	918	千スウェーデンクローナ 12,054	504	千スウェーデンクローナ 7,916
	デンマーク	237	千デンマーククローネ 5,763	41	千デンマーククローネ 1,105
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	182	760	3	144
	イタリア	676	165	1,058	236
	フランス	498	790	899	1,383
	オランダ	132	331	341	810
	オーストリア	-	-	93	452
	香港	3,490 (-)	千香港ドル 2,246 (△ 188)	23,063	千香港ドル 14,268
	韓国	70	千ウォン 678,111	44	千ウォン 393,000
ブラジル	- (84)	千リアル - (118)	275 (42)	千リアル 1,214 (40)	
チリ	-	千チリペソ -	2,732	千チリペソ 106,337	

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2016年4月12日～2017年4月10日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	8,058,618千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,762,544千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.91

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2016年4月12日～2017年4月10日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	3,117	37	1.2	4,941	147	3.0
為替直物取引	914	9	1.0	2,591	—	—

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	4,827千円
うち利害関係人への支払額 (B)	299千円
(B) / (A)	6.2%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年4月10日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末	
	株 数	株 数	株 数	評 価 額
		千株	千株	千円
化学 (12.1%)				
積水化学工業		93	31.5	57,487
金属製品 (35.1%)				
L I X I Lグループ		55.4	60.1	166,537
機械 (29.1%)				
クボタ		91	82	137,801
荏原製作所		132	—	—
電気機器 (23.7%)				
堀場製作所		26.3	18.6	112,530
合 計	株 数 ・ 金 額	397	192	474,355
	銘柄 数 < 比 率 >	5	4	< 5.7% >

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS IN	94	394	877	97,801	建設関連製品
AGILENT TECHNOLOGIES INC	220	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス
AMERICAN STATES WATER CO	150	230	1,013	112,916	水道
AMERICAN WATER WORKS CO INC	421	374	2,917	325,072	水道
AQUA AMERICA INC	787	499	1,617	180,282	水道
CALGON CARBON CO	202	—	—	—	化学
CALIFORNIA WATER SERVICE GRP	543	271	973	108,441	水道
CLARCOR INC	56	—	—	—	機械
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR	1,077	1,434	1,530	170,548	水道
COVANTA HOLDING CORP	455	—	—	—	商業サービス・用品
DANAHER CORP	367	290	2,498	278,420	ヘルスケア機器・用品
ECOLAB INC	127	138	1,736	193,480	化学
FLOWSERVE CORP	—	165	807	89,949	機械
FORTERRA INC	—	285	501	55,916	建設資材
FORTUNE BRANDS HOME & SECURITY INC	—	228	1,414	157,575	建設関連製品
FRANKLIN ELECTRIC CO INC	135	57	243	27,161	機械
HD SUPPLY HOLDINGS INC	291	386	1,549	172,639	商社・流通業
IDEX CORP	185	115	1,074	119,763	機械

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
MASCO CORP	396	449	1,504	167,614	建設関連製品	
MUELLER WATER PRODUCTS INC-A	1,151	132	154	17,168	機械	
PERKINELMER INC	421	318	1,844	205,492	ライフサイエンス・ツール/サービス	
PROGRESSIVE WASTES SOLUTIONS LTD	280	—	—	—	商業サービス・用品	
REPUBLIC SERVICES INC-CL A	274	124	784	87,409	商業サービス・用品	
REXNORD CORP	227	—	—	—	機械	
ROPER TECHNOLOGIES INC	105	75	1,573	175,328	コングロマリット	
SITEONE LANDSCAPE SUPPLY INC	—	99	491	54,751	商社・流通業	
SMITH (A. O.) CORP	299	365	1,822	203,125	建設関連製品	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	127	141	2,171	241,976	ライフサイエンス・ツール/サービス	
TORO CO	—	89	557	62,090	機械	
TRIMBLE INC	—	249	777	86,640	電子装置・機器・部品	
VALMONT INDUSTRIES	—	27	420	46,875	建設・土木	
WASTE CONNECTIONS INC	218	—	—	—	商業サービス・用品	
WASTE CONNECTIONS INC	—	240	2,107	234,794	商業サービス・用品	
WASTE MANAGEMENT INC	107	113	829	92,419	商業サービス・用品	
WATERS CORP	81	—	—	—	ライフサイエンス・ツール/サービス	
WATTS WATER TECHNOLOGIES -A	92	—	—	—	機械	
XYLEM INC	751	574	2,920	325,384	機械	
PENTAIR PLC	361	449	2,823	314,676	機械	
小計	株数・金額	10,014	8,325	39,538	4,405,720	
	銘柄数<比率>	30	29	—	<53.1%>	
(カナダ)			千カナダドル			
PURE TECHNOLOGIES LTD	836	671	327	27,171	電子装置・機器・部品	
STANTEC INC	419	505	1,791	148,859	専門サービス	
小計	株数・金額	1,255	1,177	2,118	176,031	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<2.1%>	
(イギリス)			千英ポンド			
TRAVIS PERKINS PLC	357	—	—	—	商社・流通業	
PENNON GROUP PLC	2,307	1,655	1,467	202,451	水道	
SEVERN TRENT PLC	764	725	1,743	240,419	水道	
UNITED UTILITIES GROUP PLC	1,866	1,306	1,310	180,733	水道	
WOLSELEY PLC	179	150	746	102,882	商社・流通業	
POLYPIPE GROUP PLC-WI	976	—	—	—	建設関連製品	
ROTORK PLC	1,850	1,846	464	63,992	機械	
小計	株数・金額	8,303	5,684	5,731	790,478	
	銘柄数<比率>	7	5	—	<9.5%>	
(スイス)			千スイスフラン			
GEBERIT AG-REG	63	42	1,788	197,271	建設関連製品	
小計	株数・金額	63	42	1,788	197,271	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<2.4%>	
(スウェーデン)			千スウェーデンクローナ			
ALFA LAVAL AB	—	413	7,234	88,763	機械	
小計	株数・金額	—	413	7,234	88,763	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<1.1%>	
(デンマーク)			千デンマーククローネ			
NOVOZYMES A/S-B SHARES	—	195	5,565	88,207	化学	
小計	株数・金額	—	195	5,565	88,207	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<1.1%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
KSB AG-VORZUG	6	2	93	11,067	機械	
GEA GROUP AG	—	137	577	68,097	機械	

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	期末	
	株数	株数	外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…ドイツ) BRENTAG AG	百株 —	百株 44	千ユーロ 240	千円 28,294	商社・流通業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	184 3	911 —	107,460 <1.3%>	
(ユーロ…イタリア) HERA SPA	3,709	3,327	879	103,710	総合公益事業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,709 1	3,327 —	879 <1.3%>	
(ユーロ…フランス) VEOLIA ENVIRONNEMENT SUEZ	1,688 1,789	1,548 1,529	2,693 2,300	317,472 271,139	総合公益事業 総合公益事業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,478 2	3,078 2	4,993 —	588,611 <7.1%>
(ユーロ…オランダ) ARCADIS NV AALBERTS INDUSTRIES NV	320 400	214 298	321 1,054	37,951 124,290	建設・土木 機械
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	721 2	512 2	1,376 —	162,241 <2.0%>
(ユーロ…オーストリア) ANDRITZ AG	228	134	666	78,608	機械
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	228 1	134 1	666 —	78,608 <0.9%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,144 7	7,237 9	8,827 —	1,040,631 <12.6%>
(香港) CHINA EVERBRIGHT INTL LTD GUANGDONG INVESTMENT BEIJING ENTERPRISES WATER GR SOUND GLOBAL LTD	12,240 15,548 29,808 6,353	9,840 12,088 22,448 —	千香港ドル 10,351 14,070 14,052 —	148,443 201,772 201,512 —	商業サービス・用品 水道 水道 水道
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	63,950 4	44,376 3	38,474 —	551,728 <6.7%>
(韓国) COWAY CO LTD	166	191	千ウォン 1,891,936	184,842	家庭用耐久財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	166 1	191 1	1,891,936 —	184,842 <2.2%>
(メキシコ) GRUPO ROTOPLAS SA DE CV	2,188	2,188	千メキシコペソ 5,038	30,183	機械
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,188 1	2,188 1	5,038 —	30,183 <0.4%>
(ブラジル) CIA SANEAMENTO MINAS GERAIS	710	476	千リアル 2,156	76,382	水道
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	710 1	476 1	2,156 —	76,382 <0.9%>
(チリ) AGUAS ANDINAS SA-A	14,497	11,764	千チリペソ 448,640	76,268	水道
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	14,497 1	11,764 1	448,640 —	76,268 <0.9%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	109,292 55	82,073 55	— —	7,706,511 <93.0%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2017年4月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	8,180,866	93.2
コール・ローン等、その他	592,623	6.8
投資信託財産総額	8,773,489	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産 (7,838,945千円) の投資信託財産総額 (8,773,489千円) に対する比率は89.3%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=111.43円、1カナダドル=83.08円、1英ポンド=137.91円、1スイスフラン=110.33円、1スウェーデンクローナ=12.27円、1デンマーククローネ=15.85円、1ユーロ=117.88円、1香港ドル=14.34円、1ウォン=0.0977円、1メキシコペソ=5.99円、1レアル=35.42円、1チリペソ=0.17円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年4月10日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,780,776,826
コール・ローン等	451,228,757
株式(評価額)	8,180,866,740
未収入金	133,007,010
未取配当金	15,674,319
(B) 負債	490,575,308
未払金	59,574,199
未払解約金	431,000,000
未払利息	1,109
(C) 純資産総額(A-B)	8,290,201,518
元本	2,085,013,703
次期繰越損益金	6,205,187,815
(D) 受益権総口数	2,085,013,703口
1万口当たり基準価額(C/D)	39,761円

(注) 期首元本額は2,604,960,973円、期中追加設定元本額は319,361,118円、期中一部解約元本額は839,308,388円、1口当たり純資産額は3,9761円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・ワールド・ウォーター・ファンド Bコース 1,707,062,883円・ワールド・ウォーター・ファンド Aコース 377,950,820円

○損益の状況

(2016年4月12日～2017年4月10日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	168,977,250
受取配当金	168,973,531
受取利息	67,726
その他収益金	10,695
支払利息	△ 74,702
(B) 有価証券売買損益	1,422,345,567
売買益	1,820,064,721
売買損	△ 397,719,154
(C) 保管費用等	△ 3,870,853
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,587,451,964
(E) 前期繰越損益金	6,060,888,581
(F) 追加信託差損益金	789,938,882
(G) 解約差損益金	△2,233,091,612
(H) 計(D+E+F+G)	6,205,187,815
次期繰越損益金(H)	6,205,187,815

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

①スワップ取引に係る評価の方法につき、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って評価する汎用的な記載に変更する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>

②外国為替予約取引に係る担保授受に関する規定を追加する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2017年3月31日>